

商工業従事者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①入札	市の一般競争入札の参加資格に今年から「公告日時点で、滑川市が発注する土木工事一式の手持ち工事の請負額合計が5,000万円未満であること」との記載が加わった。各業者が均等に工事を受注するのは良いことだとは思いますが、業者の規模が異なるのに同様の受注機会しか与えられないのは不公平ではないか。制約を外してもらうことはできないか。	市では、どのような入札が良いのか常に検討しているところです。受注機会の均等という側面から、ご提言にあった条件が加わりました。工事の種類や金額、経営規模等評価結果通知書・総合評価値通知書の総合評価値によって判断しているところで、受注機会の均等には一定の効果があつたと考えています。今年度、条件を加えたばかりですので、しばらくは今のままの条件で続けていきたいと思いますが、ご提言については、検討したいと思います。
②ブロック塀	大阪北部地震の際にブロック塀が倒壊した事故を受けて、市ではブロック塀の再点検を行ったと聞いているが、企業の敷地内にあるブロック塀についてはどのように点検したら良いか教えてほしい。	大阪での事故を受けて、市では、公共施設のブロック塀の点検を行いました。特に、寺家小学校の市役所側のブロック塀については、通学路に隣接し、倒壊の危険がありましたので、すぐに撤去しました。順次、老朽化したものから撤去していこうと考えています。業者の皆様や経験のある方の力を借りながら判断すべきと思いますので、そういった技術者について、市でも調査を行い、皆様に周知していきたいと思っています。また、広報8月号に安全点検のチェックポイントを掲載する予定ですので、確認いただきたいと思います。
③北アルプス横断道路(1)	北アルプス横断道路構想推進会議に出席したが、このような会議で北アルプス横断道路が実現するのか不安になった。構成市町村の職員中心の幹事会において勉強会を行うとのことだが、それでは行政だけの検討になるため、経済界など、より広い方々が意見を言えるようになるよう、会議の副会長である市長から提案してほしい。	ご提言について、北アルプス横断道路推進会議の副会長として頑張りたいと思います。
④北アルプス横断道路(2)	北アルプス横断道路構想について、上市一大町ルートが良いのであれば、市長や上市町長にぜひ頑張ってもらいたい。	東部山麓道路が早期に上市町へつながれば良いと思っています。市から上市町の馬場島までつながる観光ルートとなることを期待しており、そのことが、北アルプス横断道路の実現につながるとしています。上市一大町ルート選定に向け、上市町とも連携しながら頑張りたいと思います。
⑤人口	市当局として、滑川市の将来的な人口推移についてどのように考えているのか。特に就業労働者がどういう推移をとるのかは、企業にとって重要な事であるため教えてほしい。	現在、30代の女性の転入が多くなっています。出産適齢期の方が増えていることで、子どもの数も増えています。
⑥豪雨対策	今回の西日本豪雨を教訓にして、市として今後どのように対応していくのか。また、先日の豪雨の際、上市川の水位が上がり、川の近隣住民に対しては避難準備及び高齢者等避難開始の指示が出されたが、上市川について対策等を行う予定はあるのか。	豪雨への対策として、直接現場を確認し、危険がある場合は早めの避難を勧めます。また、ダム の水位及び放流の調整についても確認したいと思います。

商工業従事者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑦避難場所	先日の豪雨の際に開設された避難所が、南部小学校と田中小学校であった。もし、上市川が決壊した場合、まず周囲より海拔が低くなっている常光寺が浸水すると思われるため、有金地内から南部小学校に避難する際には、西部小学校側を経由しなければ避難できなくなると考えられるが、なぜ最初に南部小学校を避難所として開設したのか。また、避難準備や避難指示が発令される基準について教えてほしい。	洪水ハザードマップ上、有金や有金新町は浸水を想定していない地域となっていますが、それを鵜呑みにしてはいけないと判断し、避難準備等を発令しました。第一段階として、田中小学校と南部小学校を避難所として開放し、第二段階で西部小学校の避難所の開放を考えていたところで上市川の水位が下がり始め、避難所として指定するまでに至らなかったところです。避難準備・高齢者等避難開始は、上市川の水位の状況によって発令することになっています。実際には、上流の雨の状況や、その後の水位、現場の状況を総合的に判断し、指示を発令することとしています。
⑧土砂の流入	早月川の合口用水の取り入れ部分が流れ込んだ土砂で埋まりそうになっているので、その土砂を撤去してほしい。	早月川については、管理者である県に伝えます。
⑨ホタルイカの漁獲量	今年はホタルイカが不漁だったと聞いているが、原因については把握しているのか。日本全国で獲れる魚の種類が変わってきており、それが原因で産業構造が大きく変化した地域も多い。ホタルイカの不漁についても原因を把握しておかなければ、今後滑川市も同様のことにならないかと危惧している。	県の水産研究所から発表された今年の県内のホタルイカの漁獲予想は、例年より少ないと予想されていました。滑川では今年約220tの漁獲があり、過去3年間はいずれも約400tの漁獲があったことから、ほぼ半分の漁獲量となっています。不漁の原因については、水産研究所の調査結果を待ちたいと思います。